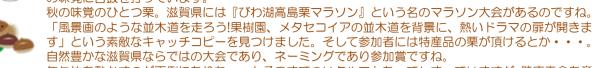
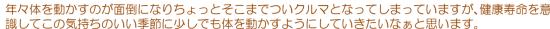


平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。 脂の乗った秋刀魚など、季節の味が食卓をにぎわす季節になりました。自然の恵みに感謝しながら秋 の味覚に舌鼓を打っています。









第 30 回ワーキング会議

三日月知事も初参加。彦根・愛知・犬上地域の 活動を受けて、意見交換を行いました。

-職種ではできないこともある。組織として動け るような仕組みを作っていくことも大事。

住民啓発と多職種連携は車の両輪。

多職種を繋ぐ役割、コーディネーターはケアマネージャーである。利用者 をとりまく支援者にだれがいるか普段からよく知っておくことが大事。

盟業医の先生を動かすにはキーとなる病院の先生がいると良い。 病院医師を応援する声を届けることも大事。

専門職ばかりの連携から地域の民生委員や福祉委員を巻き込み、地域の 人の力を活かしていけるようにしてはどうか?認知症など地域の人たち にとっても身近な題材の研修会がきっかけにできるのではないか?

湖南エリアでは核家族・単身者が多く、家で 看取るというイメージができにくいのでは?

くすの木センターのような拠点があると多職種 が顔を合わせやすい。彦根は連携が進んでいる。

多職種連携は専門職のバトンタッチがいかに スムーズにやるか。そのためにも各専門職の 質を高め役割分担することが必要。

三日月知事

24時間体制の訪問看護・介護サービスが始まり、 在宅看取りができるようになってきていることを 県民の皆さんに広く伝える取り組みも大事です。

小学校区域での地域づくりをしていくことが不可欠。自覚者の集まりを作っていくことが必要。



- ★あいさつ・報告・連絡事項
- ★情報提供
- ★活動紹介

「彦根市 在宅医療福祉推進事業活動報告」 彦根市健康推進課在宅医療福祉推進係 ソーシャルワーカー 藤井 滋生さん

★意見交換・グループワーク

「活動内容を受けての気づき&更なる在宅医療 福祉の推進にむけての視点・工夫について」 各グループより発表 三日月知事より一言



会 員 募集中



次回の

ワーキンググループ会議 12月11日(木)18:30 場所は調整中です。 決定次第、メーリングリス

トでお知らせします

事務局 山本・橋本



ニーズとシーズがマッチング できているので彦根の取組み は、行政が手を引いてもうまく 回るようになっているのでは ないか?

関心の低い人(今は困っていな い都市部の人など)を巻き込む 仕掛けが必要。

在宅医療は多職種が顔を合わせる機会が少な い。とくに薬剤師。くすのきセンターのよう な場は顔合わせができ、相談しやすい。

初めは医師のリーダーシップが必要。現場の 人(福祉職や介護職)がどこまで出てきてく れるかが重要。

専門家のつながりと地元の自治会などを繋ぐ 組織がどこか?行政の役割?キーパーソンも 重要。

# 「滋賀の医療福祉を守り育てる」県民フォーラム 平成 26 年 11 月 15 日(土) 13:00~16:30

私もこうした現場の

議論に一会員として

参加したい。これから

も在宅看取りについ

て一緒に考えて

いきましょう。

ところ 野洲文化小劇場(野洲市小篠原 2142)

### オープニング

とき

- 玉川高校吹奏楽部演奏
- 人生の最終章での在宅療養・看取りをテーマとした絵本の朗読 「だいすきなおばあちゃん」(日野原重明[著]/岡田晶子[画]) 朗読:小野千穂さん

## 記念講演

「脱! 介護神話~認知症の父と過ごした日々。あなたと私の笑顔のために~」 タレント・作家 遥 洋子さん

介護予防 · 認知症予防体操

しが夢ネット・ダンベル教室 (お米体操)

#### 創作落語とお楽しみクイズ

- ■創作落語 「天国からの手紙」
- エンディングノートに関するお楽しみクイズと解説

**医療福祉・在宅看取りの地域創造会議事務局**(滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課内)

TEL 077-528-3581



ご連絡下さい。





定員 300 名 (**先着順**)

事前申し込みが必要です

